平成 27 年度第 2 回松前町総合教育会議 議事録

- 1 日 時 平成 28 年 1 月 22 日（金）午前 8 時 45 分～午前 9 時 37 分
- 2 場 所 松前町役場 4 階 402 会議室
- 3 出席者 <松 前 町>岡本町長
<教育委員会>本馬教育長、池内教育委員、坪内教育委員、
玉野教育委員、渡部教育委員、
<事 務 局>岡本教育委員会事務局長、合田学校教育課長、
富田社会教育課長
<会 議 進 行>金子総務部長
- 4 議 事 (1) 松前町教育大綱（案）について
(2) 28 年度教育主要施策に係る当初予算案について
(3) その他
- 5 議事内容

【総務部長】

平成 27 年度第 2 回松前町総合教育会議を開催いたします。

地方教育行政の組織及び運営に関する法律の第 1 条の 4 の規定におきまして、総合教育会議は町長が招集するということになっております。

昨年 11 月 30 日に前の白石町長のもとで第 1 回を開催いたしました。その後前町長が教育大綱につきまして一部の修正が必要となりました。その後前町長が 12 月 10 日退任、また岡本新町長が 12 月 11 日就任、またその後 12 月議会の開催等がございまして、本日、岡本新町長のもとで改めて協議をさせていただきます。なお、会議は原則公開ということになっております。本日は 1 人愛媛新聞の方が傍聴を希望されておまして、別室にて待機しております。先に決定しております、松前町総合教育会議、傍聴要領により取扱いますが、入室ならびに傍聴をさせてよろしいかお伺いさせていただきます。併せまして傍聴の写真撮影等は議長の許可を得て、冒頭のみとなりますが、よろしいでしょうか。

(町長、委員の了承後、愛媛新聞記者 1 名が入室。写真撮影を行う)

(撮影の後)

【総務部長】

岡本新町長就任後初めての教育委員との会議となりますので、町長及び委員を紹介させていただきます。(各委員紹介の後)

【町長】

あらためましておはようございます。今日は朝早くに開会をするということで、朝早くからご出席いただきまして本当にありがとうございます。

私にとりましては、初めての総合教育会議でございますが、今後ともどうぞよろしくお願いいたします。今日は前の白石町長の下でご協議いただきました、教育大綱について少し私なりに字句の訂正ではございますが、修正した所もございまして最終的な調整をさせていただくということで、開催をさせていただきました。それと、28 年度の当初予算編成時期でござい

ますので、28年度の教育予算についての協議をさせていただき、この2つの議題をもって開催をさせていただきました。どうぞ忌憚のないご意見をいただきまして、会議が実りあるものにしていただきますようよろしくお願い致します。簡単ですが終わります。

【総務部長】

続きまして議題に入りますが、設置要綱第4条第1項の規定により町長が議長となります。この後の会の進行は岡本町長にお願い致します。

【町長】

それでは議長役を務めさせていただきますのでどうぞよろしくお願い致します。

まず議事に入る前に設置要綱第7条第2項の規定によりまして、議事録署名に2名を指名致します。玉野委員さんと渡部委員さんのお二人を指名させていただきますので、どうぞよろしくお願い致します。

それでは議題1に入りたいと思います。松前町教育大綱案について事務局の説明をお願いします。

(1) 松前町教育大綱（案）について

【教育委員会事務局長】

別紙のA4横長の松前町教育大綱新旧対比表で説明させていただきます。左側が今回の教育大綱案、右側が白石前町長のもと第1回の総合教育会議で一部修正あった所については、修正した状態の案です。今回見直した部分についてはアンダーラインを引いています。それでは改正部分について順次説明します。

・1ページ目

はじめにの部分には、冒頭に一文付け加えました。「松前町では昭和39年に行政施策の基本を教育に置くとする教育の町宣言を行い、今日まで教育の振興に務めてまいりました」と言う一文を加えました。これは、後段の方に「教育の町」という言葉が出てきますが、冒頭に教育の町宣言のことに触れておく、ということと共にこれまでの取り組みも謳うべきであろうということで追加しました。

次の段落は、法律名の前後のかぎっこをはずし、法の改正をうけて地方公共団体の長は当該地方公共団体の教育確立及び文化の振興に関する総合的な施策の大綱を定めることとされたとする具体的な大綱の内容を規定するように修正しました。修正を行った関係で、次の段落についても、これをうけて町長と教育委員会を構成員とする総合教育会議においてというふうに修正をしました。

次にひらがなで表記しています、「めざします」というのが下の方にありますが、これを漢字で「目指します」というふうに修正しています。漢字にした方がイメージも伝わりやすい良い言葉であるとか、あるいは用語の修正等もこの1ページや2ページ以降に何箇所かありますが、そちらの方の説明は省略します。

・ 2 ページ目

目標の自立の部分についての、最初の「生きる力」というのを「生き抜く力」に修正をしています。これは、今回の国の方の第2次教育振興基本計画の中の教育行政の基本的方向性の1つに社会教育を生き抜く力の要請という文言があったので、国の方向性を踏まえて、行き抜く力というふうにするものです。

次に、目標の1番最後の「飛躍」については、前回の案では生涯を通じた文化活動やスポーツ活動での生きがいつくりや健康づくりを進めます、というふうにありましたが、ちょっとイメージとして飛躍という目標に結びつきにくいということもあって、全体的に内容、文書を見直して、左側にあるように自立、共生を通じて、たくましく社会を生き抜く力をより一層育み、本町の特性を生かし教育の更なるレベルアップに努めます、としました。これは、町の総合計画の方にもこの飛躍という言葉でこういった教育、行政の各分野でのレベルアップを図るといような飛躍に係る文書があったので、それを引用させていただきました。それからその下に、すべての町民に思いやりと笑顔があふれ、活気に満ちたまちづくり、さらに、人が輝き文化が変わるおしゃれなまちづくりを進めますというふうに変更しました。

・ 3 ページ目

学校教育の充実の1番、就学前教育の充実の中で、右側に「家庭における養育支援」とありますが、ちょっと分かりにくいこともあり、分かりやすい言葉で「子育て家庭の支援」というふうに変更しています。それから、大きな2番の学校教育の充実で、知・徳・体というのを、注釈をつけて前の方ではやっていましたが、学校教育の方では一般的であるというような前の教育委員さんの一部意見もありましたので、後ろの注釈を今回削除して、文の冒頭を「将来を担う子供たち」という主語を先にもってくるように冒頭の部分も改めました。

・ 4 ページ目

(3)のところで、後ろのほうに義農作兵衛の生き方に学ぶの表現と統一感を持たすために前の郷土の歴史や文化を知るといいうふうに変更しています。

(4)では、保護者や町民への啓発の意味が分かるよう、具体的に特別支援教育に対する理解の促進というふうにしました。

・ 5 ページ目

生涯学習の推進の主要施策の前回の(2)ですが、前の町長の時もこれは青少年の健全育成ということで、生涯学習ではないのではないかとということで、保留になっていた部分ですが、生涯学習には馴染まないということで今回この部分は削除しました。

前回の(4)は、松前町誌について書いていましたが、これも生涯学習とは馴染まないということで、教育委員会だけでなく全町体制で取り組む事項であるということで削除しました。

前回の(3)を今回(2)として一部表現も変えました。文化活動やス

スポーツ活動について生涯を通じた生きがいづくりや健康づくりを進めるための、具体的な政策内容に表現を改めました。

(3)として新たに追加したのが、公民館とか分館活動の活性化支援や各種団体の育成支援について今回追加しました。

・ 6 ページ目

人権の関係の部分も2つしかなかったが、今回(3)として、男女共同参画の関係、推進団体の活動支援や指導者の育成という部分に努めます、ということを加えました。以上です。

【町長】

ただいまの事務局の説明に対して、ご意見ご質問はありませんか。

【坪内委員】

町長の年賀の会でも出たことでもあります、おしゃれなまちづくりという言葉、すごくおしゃれっぽいと思いますが、もう少し具体的にお話してくださいと嬉しいのですが。

【町長】

おしゃれなまちというのがなぜそういう話になったかと言うと、結局人口減少を抑制するためには、定住人口を増やしていく必要があります。特に次世代形成家庭の若い夫婦の方々が、自分たちが子育てをする場所としてどこを選ぶかと、その時期に松前町を選んでいただくということが必要ではなからうか。

もう1つ、ご夫婦で自分達の住む場所を選ぶ時にどっちがキーパーソンかと。男か女か、と考えた時にきっと女性の意見の方が重要視されるのではないかと、というふうに女性の意見が強いだらうと、私自身の家のこともあるので。そんなことも考えて、やっぱり女性が住みたいと思う町にしないといけないと考えて、まず、女性はどんな町を好むだらうと考えた時に、やっぱりおしゃれさというのが若い女性の方はたぶん考えるのだらうということで「おしゃれ」というキーワードを使いました。

しかし、実際私は男なので、どういうのがおしゃれな町なのだらうというところは分かりません。イメージとして自分自身は持っているが、それが本当に若い女性の感性と合うのかどうかということとは分からないところもあったので、今後女性の方々からおしゃれな町とはどういう町なのだらうかというご意見を伺いながら、施策の方向を決めていきたいと考えていて、今編成中の28年度の当初予算の中で、仮称ではありますが、「まちづくり女性会議」というかたちで女性の皆さんにご意見を伺う正式な仕組みというのを作っていきたいというふうに思っています。

【坪内委員】

心づもりがあるということですが、おしゃれの町のある程度のイメージとはどのようなものですか。

【町長】

私が最初に思ったのは、実はかつて愛媛県で伊賀さんが知事をされている頃に、生活文化県政というのを標榜されたことがあり、その時に、例えば建物とか橋とか、社会資本を整備する際、生活文化、文化の色合いを付

けるということで、機能だけではなくてそこに文化的な、例えば、欄干を綺麗な欄干にして、歩いていても楽しいようにするとか、そういうような施策をされたことがありました。その当時にできた橋、松前であれば長尾谷橋の当時の橋が綺麗な欄干だが、松山であれば末広橋とか湯渡橋とかこの辺りが綺麗な橋ができていますが、そういうような施策をしたので、松前町の橋を見ると、どこもガードレールで、赤茶けて錆びてという橋が多いが、あんな所を少し通っても楽しいような橋、またこうした橋もメンテナンスをしていかなければいけない時期にきているので、メンテナンスの際に少し予算を上乗せしてそういう所を目で見ても楽しい、通っても楽しいようなことにしていくのが1つの方法かなと、お金のかかる事なのでそのあたりは来年のすり合わせながら出来ればやっていきたいと思っています。

【坪内委員】

ありがとうございました。

【池内委員】

今お話をお伺いして、おしゃれということについて、私なりに町長さんはこういう風な思いを持っているのかなということと、その一端は理解できましたが、私の考え方が古いのかもしれないが、こういった町の教育大綱という、そういうものとおしゃれという文言がマッチするかしらないか、そこら辺りちょっと私なりに違和感を持ちました。ただ、色々な事を考えてみると、学校の校歌なんかにもそれまではとても考えられなかったような文言も出てきている。「やれば出来る」というふうなそういった言葉が学校の校歌に出てくるというようなことは、以前私達が若い時にはとても考えられなかった事だと思う。そういう点から考えると、教育大綱というものとおしゃれという言葉はマッチしているのですよ、というような考え方もあろうかと思えます。個人的には少し違和感を持つのは持ちました。

もう一点は5ページの一番最後、一番下の所だが、「人権意識の醸成を図り」という言葉がある。これをずっと読まさせていただいて、ここにも少し私なりに違和感を瞬間的に持ちました。「醸成」という言葉を辞書で引いてみるとだいたい「造りだす/作り出す」と。広辞苑ではないが、広辞苑に匹敵するような分厚い辞書を引いてみたが、まず出てきているのは、お酒や醤油を醸し出すというような意味があったかと思う。全体的には造りだすという意味があるのかなと。そうすると、町民の人権意識を造りだすということであれば、現在松前町の町民の人権意識はないのかというような意味にも取れるかなと。ないものを造りだすということであれば、例えば「人権意識の高揚を図り」というふうな言葉ではどうなのかなというふうなことを、この2件を思いました。

【町長】

ご意見ありがとうございました。

実は、原文を見ていただいたらと思いますが、町民を育成するという言葉になっていて、これが少しまずいだろうと。育てるというから。ということで、全ての人の人権を尊重する人権感覚を云々というのは、ここまで

言わなくても人権意識で分かるだろうということで、よく意識の醸成という言葉は行政でよく使う言葉なので、そういう言葉に変えさせていただいたのだが、おっしゃるように、今ないのかというふうに見られる可能性はないことはないですよ。高揚に直すことはやぶさかではありませんが、皆さんいかがでしょうか。

【坪内委員】

私も高揚に賛成です。

【玉野委員】

私は醸成でもいいと思います。醸し出すというのは発酵させるというか、さらに熟成させるという意味があるので、わたしは醸成でいいのかなと思います。

【町長】

よく意識の醸成と言う。あんまり考えずに私もこの言葉を選んだが、池内委員さんがおっしゃるように、とられないこともないかもしれませんね。今がないから。これから造り出すというふうな意味合いにとられると、可能性はないことはないということになる。渡部委員さんいかがですか？

【渡部委員】

醸成に支障がないと思うが、今言ったように一からという意識を持たれるのであれば、一層とかそういう言葉でも入れるか、そのくらいに。醸成という言葉は別に問題はないと思います。

【町長】

渡部委員さん「一層の」と入れたらどうかというご意見がありましたが、どうでしょうか。どちらが良いでしょうか。

【池内委員】

町長さんや渡部委員さんは行政の世界で生きてきたので、こういうふうな言葉は言い慣れているかなと思います。私自身にとってはちょっとどうかと思ったので。

【町長】

差し支えなければ高揚で良いでしょうかね。高揚にしましょうか。

【教育長】

先ほどのおしゃれなまちづくりが大綱にふさわしいかどうかという意見についての話ですが、松前町が60周年を迎えてこれから成熟した町を目指すというふうにお互いに、先ほど町長さんが説明されたのを含めて、ある意味今までの松前町に貼られたレッテルですよ。松前町はそういうのを払拭して、また新たな一歩で60周年、還暦を迎えて生み出すのですよと言った場合には、将来性のある明るい展望を含めた言葉であるので、学校教育だけではないのであって、松前町のより良い清新と言うか刷新するイメージとして私は良いのではないかなと。

【池内委員】

他の皆さんがこれで良いということであれば、さほどこだわりません。

【町長】

選挙を通じて町民の皆さんにおしゃれなまちづくりをかなり訴えてき

たので、これを入れていただいたら嬉しいなということ。

【玉野委員】

確かに大綱の中でおしゃれっていうのだけが際立っているなどと思います。ぱっと目を引く。教育大綱という中で言うと、「おしゃれ」というキーワードはある意味斬新だなというところがありました。

【渡部委員】

確かに教育大綱におしゃれ、それは感じるが、たださっき町長が言われたように、全ての中でおしゃれ、そう言った面を進めるんだという意味合いで、教育・文化・芸術の分野をそういうおしゃれの面を取り入れていくよという方向付けとして、入れるのでしょうか？

【町長】

心のおしゃれとか表現のおしゃれ

【渡部委員】

やっぱりものもあり内面もあり、そういう面に捉えれば良いかなと。

【坪内委員】

私も先ほどのお話を聞いて、より一層明るい松前町のイメージを創り出そうとされているなど思いました。

【玉野委員】

必ずどなたもやっぱりここの所は読んでいるとそこだけ色がついている様になると思うので、ちゃんと説明出来るように、今町長がおっしゃった様なことを認識できてないと、おしゃれということが何でここにおしゃれが入っているんだ、ということになりかねないので。

【教育長】

それについては、目標が自立・共生・飛躍となっているので、飛躍の最終目標は教育の充実であるとかではあるが、町全体として生き生きと笑顔が溢れてという、そういう飛躍の目標、達成目標をキーワードとして。

【池内委員】

全くの余談ですが、新春年賀の集いで町長のお話もお伺いさせていただいて、おしゃれというお話も出て、女性ばかりしか出てこないのは、男性は出てこないなど。女性だけでは子供はできないのになという様な、単にそんなことも思いながらお話をお伺いしたのだが、先ほどのお話で良く分かった。

【町長】

確かに、女性政策、政策と結構強く打ち出しているけれども、それは人を呼び込むための政策としての女性政策で、先ほども言ったように、そこで、定住人口が増えてきて、町が活性化することで税収も上がってくる。その中で、高齢者対策を円滑に出来るようになるという良い方に回っていくという意味で、まずはそこだろうというお話での意味である。ご理解頂けたらと思います。

あと一つ言っておきますと、字句や漢字を色々直しています。これは私が行政におった関係ですが、一応行政では常用漢字を使いましょうということで、国の方から使い方の通達なんかが出ていて、それに準拠したかた

ちで漢字の使い方を修正した。その点をご理解頂いたらと思います。

【渡部委員】

(男女共同参画について)

これは元々、男女共同関係は行政の施策として、特に頭出しを今までは議論の中ではしていないが、岡本町長さんの施策の柱としてやはり先ほど言ったこともありまして、男女共同参画社会というふうに、より一層ということで、ここに追加されたというふうに理解してよろしいのか。

【町長】

そういうふうに理解いただいたので結構です。

他にございませんでしょうか。他に意見もないようなので、一応この大綱案で皆さんのご同意をいただけたものとして、近く制定をしたいと思っているがよろしいでしょうか。

(委員、一同うなずく)

(2) 28年度 教育主要施策に係る当初予算について

【学校教育課長】

大綱案の最後のページの方に資料を付けているので、そちらの方をご覧ください。

28年度教育主要施策に係る当初予算案として、重要目標の学校教育の充実という点で、主要施策として(1)児童・生徒が授業に興味・関心を持ち、意欲的に学習できるように、各小中学校にデジタルテレビやICT機能の整備・充実を図りますという点で28年度当初予算に2項目挙げさせていただきます。

①教員・教職員用のパソコンの更新 175台

これは、現在182台ある教職用のパソコンが、平成24年度以前のものがほとんどで175台あり、それを全部新しい機種に交換して5年リースとしたかたちで更新していきたいと考えています。

②小中学校の教室用のテレビ、中学校AV放送設備の更新

各小学校・中学校の現在のテレビ、学校で使っているテレビがブラウン管テレビでアナログ放送の対応のテレビになっている。それを、かなり遅れているので、すべての台数をデジタルテレビ、これは一括で全部替えたいと考えている。その関係で小学校の方の放送設備はデジタル化されていますが、中学校の方は、まだアナログ放送の機種になっているので、テレビの交換と同時に放送設備のデジタル化したいと思うので、3校の放送設備のデジタル化を図りたいと思います。テレビについても放送設備についても5年間リースという形で、一応対応を考えたいと思います。

この2点を、平成28年度の当初予算に要求したいと考えていますので、計上についてお願いできればと考えています。

【町長】

今の説明ございましたが、何かご意見とかご質問とかございましたら。

【教育長】

教職員用のパソコンの更新というのは、今やっぱり ICT で業務を効率化させていく、教職員が少しでも時間の余裕を持って子供たちに対応しながら教育活動を進めていく。また、授業で興味・関心を持たせるためにも必要であるということをお願いをしたいと思う。特に、小中学校の教室のデジタルテレビにおいてはゼロに等しいので、他の市町に比べても立ち遅れているのは現実である。やはりこれも、パソコンを利用しながら子供達が興味・関心を持って楽しく授業を受けられるということで、5～6年間の学校現場からの優先順位1のことなので、よろしくご配慮をお願いしたいと思う。これから町長査定や議会もあるが、台数については精査しなければいけないが、一回にやっていただくと小中学校の差なくできるのでよろしく申し上げます。

【町長】

この総合教育会議というものが生まれた背景は、やっぱり予算の関係や教育行政は教育委員会の権限ではあるけれども、それに必要な予算の関係は首長の権限である。そこの辺りを上手く調整をする意味合いも、この総合教育会議の重要な役割になっている。実は私自身まだ、28年度の当初予算の全容は説明を受けていない状況なので、これが満額その要求に対して答えることができるかどうかは、今返答はできないけれども、全体の予算枠を見ながらその他の部分との優先関係等を考慮しながらできる範囲で最大限努力をしていきたいと考えている。また、選挙期間中を通じて学校施設の充実の声というのを結構耳に入ってきたので、非常に前向きに取り組んでいきたいと思っている。その他学校施設充実に関して、委員さんのご意見もありましたら。

【渡部委員】

教育委員をやってきて、市町間の教育環境の格差というのをすごく感じるというのが、人事異動で先生が来られた時に、前の所はこうだったというのが非常にあるので、子供たちにとってはその格差があってはならない。

やっぱり教育は全国統一の環境の下できちっと教育されないと、ということの基本に置いていただいて。飛びぬけて環境を良くしている所もあるかも分からないが、それは財政との兼ね合いがあるのだが。是非そういうところをご配慮いただけたらと。

【町長】

おっしゃられた、まさに、転勤をされた先生方が松前に来たらちょっと・・・というような話があったので、その辺は就任した後に教育委員会の方に調査をお願いしたと思います。その方向で努力していきたいと思ます。

【池内委員】

こういう予算を28年度で要求をしていくということだが、教育の町松前町にしては、決して今の段階でこれやりますよと胸を張って言えるよう

な内容ではないと思う。数年前にこういうのはできていなければならないことではないのかなと思う。学校へ行ってからブラウン管テレビというものは、町長さんの「おしゃれ」なイメージとは全く逆のことなのかなというようなことも思うので、全体の中でお考えになられると思うが、教育委員会としての出来るだけ早い実現をお願いしたいと思うのでよろしくをお願いします。

【町長】

他に何かございませんでしょうか。

それではご意見ないようなので、一応こういうご要望でしたということので今後の予算について繁栄させていきたいと思うのでよろしくをお願い致します。

(3) その他

【総務部長】

今後のこの会の持ち方について説明をさせていただきます。
設置要綱第2条第3号の規定では、児童・生徒等の生命や身体に被害が生じ、または生じる恐れがあると見込まれると、緊急的に講ずべき処置の協議が必要と認める場合に、この会につきましては随時に開催していきたいというふうに考えています。

設置要綱の第2条第2号では、教育を行なうための諸条件の整備、その他の教育等の振興を図るため、重点的に講ずべき施策の協議・調整についてという項目がある。具体的には、教育大綱に掲げる主要施策など、調整が必要と思われる予算案、今日も一部説明させていただいたが、こういった内容について、また、2つ目としては、新規の条例案などで町長と教育委員会で調整が必要な事項、こういったことが必要な場合に適切な時期に必要なに応じて開催したいというふうに考えています。また、3番目としては、その他町長と教育委員会と協議したい事項、こういったものが発生したら随時開催していきたいというふうに考えています。この会の今後の持ち方として、一部説明をさせていただきました。

【町長】

部長からどういう時に開催をするか説明をされましたけれども、何かご意見やご質問はございませんでしょうか。

【池内委員】

この総合教育会議という会議そのもののご説明にあったようなことで良いのではないかなと思うが、それでなくて、前町長の時代に教育委員それから現場の校長先生方を交えた、ざっくばらんな話し合いの機会がありましたが、そういう機会をぜひ今後も可能な範囲で継続をしていただけたら良いのではないかと、より現場の声を生に聞くことが出来るので、そういうことも考えただけたらいいかなと思う。

【教育長】

そのことにつきましては、先日教育推進懇話会ですかね。1、2年途切れていますが、町長さんに是非ご検討をお願いしますということをお願いしたところなんです。それから教育大綱の中にあるが、これは教育委員会としてだが、学校教育の充実の主要施策の（5）です。より良い学校づくりを進めるため、学校・保護者・教育委員会等の話し合いにより、というのがあろうと思うが、今は校長会だけであるがPTA会長・副会長等を交えた会合をして、保護者方々の意見を是非吸収して教育行政に反映したい。そういう会を立ち上げたいとも考えている。池内委員さんが言われた、現場の生の声を聞くということを実施していきたいと思えます。

【町長】

それでは他にご意見もないようなので、今事務局が説明したように、今後の総合教育会議の開催はこのようなかたちで開催させていただきます。どうぞよろしくお願い致します。その他、今回、今日ご了解いただきましたこの教育大綱に基づいて、5年間を目標にこの大綱を進めていきますが、大綱に基づいた具体的な教育施策に関して、委員さん方々から何かこういうことがあったらご意見としてお伺いしたいと思うが、いかがでしょうか。

【教育長】

この大綱の内容に触れるということではなくて、教育委員会のこの大綱に基づいて具体化していく上で、基本的な考えを3つほど述べさせていただきます。

先ほどにも言ったように、1つはやっぱり学校とか公民館の現場であるとか、町民の方々、地域に開かれた教育委員会づくりを推進しなければならないと思っています。それが1つ。

2つ目は、大綱の内容とか主要施策の実現状況については教育委員会の事務点検評価、あるいはその都度の行事等々の参加してくださった皆様方のご意見評価を踏まえて、それを元に改善を図っていく。

3つ目は、この大綱を踏まえてより具体的な教育の方針について、平成28年度の松前町教育基本方針の中で、今後講ずべき施策であり町としての学校、公民館、あるいは幼稚園等の方針を具体化していきたいと思っています。今まではご存知のように、教育基本方針を教育委員会にかけて作っていたと思うが、今年度は大綱ができてないということで、据え置いておりますので28年度分はこれに基づいて内容を改善していきたいと考えている。

【町長】

教育長からこういった取り組みの心構えの基本の部分の説明があったが、委員さん方何かご意見、ご質問がありましたら。

ご意見もないようですので、それではこのあたりで本日の議事を終了したいと思います。委員の皆さん方には本当にお忙しい中ご出席を賜りまして、貴重なご意見ありがとうございました。それでは進行を司会の方にお返しをします。

【総務部長】

本日の会議結果につきましては、事務局で議事録を作成の上、ご確認ご署名をいただきますのでよろしくお願い致します。それでは以上を持ちまして、平成 27 年度第 2 回松前町教育総合会議を終了いたします。